



## 令和2年度学術委員会学術第6小委員会報告

# 病院薬剤部門の現状調査および診療報酬改定特別調査データの利活用推進に関する調査・研究

委員長

東北大学病院薬剤部

小原 拓 Taku OBARA

委員

昭和大学病院臨床研究支援センター

東北医科薬科大学病院薬剤部

就実大学薬学部

内倉 健 Takeshi UCHIKURA

菊池 大輔 Daisuke KIKUCHI

田坂 祐一 Yuichi TASAKA

宮城県立がんセンター薬剤部

山形大学医学部附属病院薬剤部

亀田総合病院薬剤部

土屋 雅美 Masami TSUCHIYA

畠山 史朗 Shiro HATAKEYAMA

舟越 亮寛 Ryohkan FUNAKOSHI

### 背景・目的

日本病院薬剤師会（以下、日病薬）では、病院薬剤師の活躍を社会・国民に向けて広くアピールし、次期診療報酬改定のための重要な基礎資料とすること等を目的に、毎年「病院薬剤部門の現状調査」（以下、現状調査）を実施している。また、令和元年度には、診療報酬改定で議論されるであろう内容に特化した「診療報酬改定特別調査」（以下、特別調査）を実施している。現状調査の結果は、診療報酬改定の際の中央社会保険医療協議会（中医協）での検討の基礎資料として活用されているとともに、例えば、中小病院の薬剤師の役割の検討、経時的変化を評価する際の資料として、日病薬内部および各県病院薬剤師会（病薬）で活用されてきた。しかしながら、全国規模で経年的に実施されている日病薬現状調査のデータは、より広範囲に利活用され得る有用なデータであると考えられる。本委員会の目的は、次に示す活動計画を通して、日病薬現状調査・特別調査データの更なる利活用を推進することである。また、本委員会活動によって得られる①直接的な成果としては、a. 総務部・医療政策部と連携した恒常的な集計・解析体制の充実、b. 病院薬剤師の役割に関するエビデンスの充実、c. 国民に対する病院薬剤師の役割の周知・発信の機会の増加を、②間接的に期待される社会的成果としては、a. 日病薬の活動への会員の参画の推進、b. 病院薬剤師の役割に対する評価の向上、c. 病院薬剤師の業務環境の改善、d. 病院薬剤師の人材確保を想定している。

### 活動計画

- (1) 各種病院薬剤師業務の実施状況に関する解析（令和2～4年度）
  - a. 病院薬剤師業務の変化と診療報酬改定・各種通知発出等との関連の評価
  - b. 病院薬剤師業務の実施状況（有無・程度）に与える要因の抽出
- (2) 日病薬会員を対象とした調査（令和3年度）
- (3) 恒常的な集計・解析体制の充実に向けた検討（令和2～4年度）
  - a. 解析用統合データベースの整備
  - b. 解析体制の充実

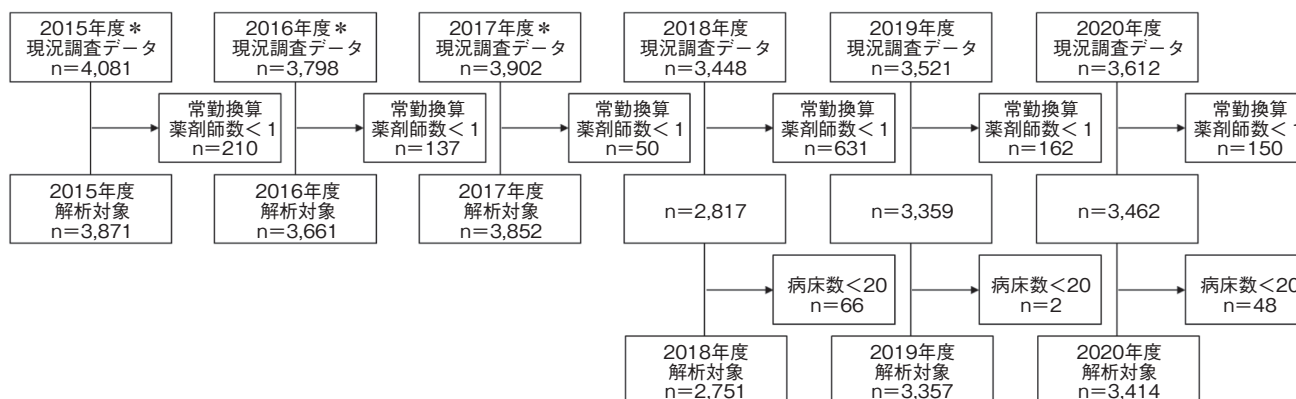
なお、日病薬現状調査・特別調査データを用いた解析の実施・公表および解析テーマの募集のための調査実施にあたっては、日病薬と調整のうえ、委員会代表者所属機関である東北大学における倫理審査委員会の承認に基づいて実施する。また、本調査の結果を発表する際は、回答施設を特定できないようにする。

### 令和2年度の活動状況

令和2年度には、オブザーバーを含む委員会を2回、全委員での委員会を1回、一部委員での委員会を5回（感染領域・副作用領域・がん領域・経済領域・その他）開催した。

#### 1. 「各種病院薬剤師業務の実施状況に関する解析」

解析対象施設の基準として、病床数20床以上、常勤換算薬剤師数1人以上（小数点以下は切り捨て）を必須条件とし、2015～2020年度の現状調査データの解析対



条件：常勤換算薬剤師数1人以上（小数点以下は切り捨て）、病床数20床以上  
 \*：病床数<20の回答なし  
 集計：土屋、畠山、菊池

図1 2015～2020年度の現況調査データの解析対象施設

表 2015～2019年度の現況調査の設問の対応表の抜粋例

副作用報告・インシデントについて					
年度	Q. 貴施設で発生したアレルギー情報についても、一元管理して		Q. 貴施設で副作用等は発生（前年度1年間）しましたか。また、発生した場合は件数を記入してください。		
2019	—	—	—	—	—
2018	—	—	発生した	発生していない	件数（平成29年度1年間）
2017	—	—	発生した	発生していない	件数（平成28年度1年間）
2016	いる	いない	した	していない	直近1年間に 件
2015	いる	いない	した	していない	直近1年間に 件
提示している年度の数	2	2	4	4	4

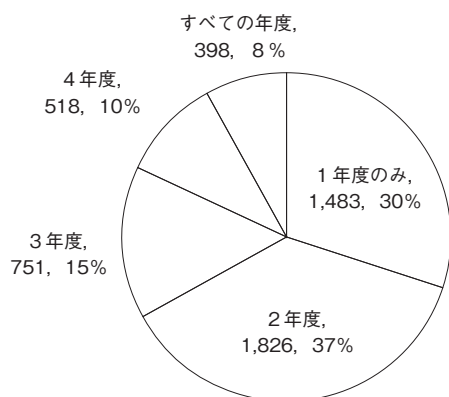


図2 同様の選択肢を提示している年度の数

象施設を確定させた（図1）。また、各施設の情報連携、副作用報告、感染関連加算算定状況の経年変化の評価と、直近データを用いた要因解析の実施可能性を見出した。

## 2. 「恒常的な集計・解析体制の充実に向けた検討」

2015～2019年度の現況調査の設問の対応表を作成し

た（表）。2015～2019年度の現況調査の精査の結果、すべての年度で提示されている選択肢は398個であり、全選択肢の8%であった（図2）。また、恒常的な集計・解析を実施する際のデータ管理手順書のプロトタイプとして、委員向けデータ管理手順書を作成し、運用を開始した（図3）。なお、各種加算の算定状況の経時的な評価を試みるなかで、現況調査の設問のうち、設問によっては年度間で統一を図る必要性を見出した。

### 令和3年度の活動予定

「各種病院薬剤師業務の実施状況に関する解析」に関しては、解析および解析結果の公表のための手続きを進める。「恒常的な集計・解析体制の充実に向けた検討」に関しては、「日病薬会員を対象とした調査」を実施し、日病薬現況調査・特別調査データを用いた解析テーマを募集する予定である。

令和2年10月30日  
日本病院薬剤師会学術第6小委員会

現状調査データ等管理手順書

1. データ使用者
  - ・日本病院薬剤師会学術第6小委員会の委員長または委員であること。
  - ・データ使用者は、所属機関等が実施する情報セキュリティに関する教育を受講すること。
  - ・データ使用者は、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針等、該当する各種指針・ガイドラインを遵守すること。
  - ・データ使用者は、万が一、利用データの漏えい等セキュリティに関する事故が生じた場合は、直ちに日本病院薬剤師会学術第6小委員会委員長を経て、日本病院薬剤師会学術委員会および事業課に報告すること。その後の事故処理については、日本病院薬剤師会学術委員会等の指示に従い、速やかに実施すること。
  - ・データ使用者は、当該データを利用した研究成果をデータ使用者の責務及び制限事項を遵守の上、発表することができ。その場合、日本病院薬剤師会学術小委員会活動として行ったことを明示しなければならない。なお、研究成果をもとにした知的財産権が発生した場合には、その都度日本病院薬剤師会学術委員会と協議すること。
2. データの保管方法
  - ・データ使用者は、データをデータ専用外付けハードディスクに保存し、原則外付けハードディスク外に移動しないこと。
  - ・データへのアクセスはデータ使用者に限定すること。
  - ・データが保存されている外付けハードディスクの保管場所には施錠すること。
  - ・データ使用者は、データのコピーは作成しないこと。ただし、以下の場合には例外とする。これらの場合も、利用後速やかに復元可能な方法で消去すること。
    - ◇ データをバックアップする場合。
    - ◇ データ移動時に一時的に作成する場合。
    - ◇ ソフトウェアによって一時的に作成される場合。
3. データ使用者間でデータおよびその生成物の移動手段
  - ・データ使用者の間でデータおよびその生成物等の受け渡しを行う場合には、データ使用者が以下の措置を講じること。

- ◇ 盗難、置忘れ等に対応する措置として、データを暗号化したり、アクセスパスワードを設定する等、容易に内容を読み取られないようにすること。

4. 保管期限

- ・当該研究を申請した倫理委員会で承認された保管期限を遵守すること。倫理委員会を必須としない研究にあつては、研究開始から原則2年以内の間で、必要最小限とすること。

5. 廃棄方法

- ・データが保存されている記録媒体については、一時ファイル、バックアップも含めてデータを外付けハードディスクから復元可能な方法で消去すること。消去後、読み出し可能な情報がないことを確認すること。

6. 使用範囲

- ・データ使用者は下記の事項を遵守すること。
  - ◇ 日本病院薬剤師会が承認した研究利用または日本病院薬剤師会が指示した目的への限定
  - ◇ データ使用者、日本病院薬剤師会総務部、医療政策部、学術委員会、事務局以外へのデータの再配布の禁止
  - ◇ データ使用者、日本病院薬剤師会総務部、医療政策部、学術委員会、事務局以外へのデータ生成物の提供の禁止

備考

データ譲渡日よりデータ保管期限（令和6年3月末を予定）までのデータ使用者は以下の通りである

- 小原 拓（東北大学病院）
- 舟越 亮寛（亀田総合病院）
- 土屋 雅美（宮城県立がんセンター）
- 菊池 大輔（東北医科薬科大学病院）
- 島山 史朗（山形大学医学部附属病院）
- 内倉 健（昭和大学病院）
- 田坂 祐一（就実大学）

（令和2年10月26日現在）

図3 データ管理手順書プロトタイプ（委員向け）